

EXERCISE 30

女性と高脂血症

Q 143 高脂血症の診断に必要な基準値はどれか。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1) 要絶食 | 2) 総コレステロール：220mg/dl |
| 3) 中性脂肪：150mg/dl | 4) LDL：140mg/dl |
| 5) HDL：100mg/dl | 6) HDL：40mg/dl 以下 |
| a) すべて | b) 2-3-4 c) 2-4-6 |
| d) 1-2-3 | e) 2-3-6 |

Q 144 高脂血症の病型分類で正しいものはどれか。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1) 表現型 (phenotype) である | 2) 各種リポ蛋白の増加を示す |
| 3) 疾患単位を示す | 4) 性差がみられる |
| 5) 家族歴の調査が必要 | |
| a) 1-2-3 | b) 1-3-4 c) 2-3-4 |
| d) 2-3-5 | e) 1-2-4-5 |

Q 145 高中性脂肪血症がもたらすリスクはなにか。

- | | | |
|----------|------------------------|----------|
| 1) 動脈硬化 | 2) 血栓 | 3) 耐糖能異常 |
| 4) 肺炎 | 5) 高尿酸血症 | |
| a) 1-2-3 | b) 2-3-4 c) 1-3-5 | |
| d) すべて | e) 1-3-4 | |

Q 146 肥満婦人の管理で重要なポイントはどれか。

- | | | |
|--------------|----------------------------|----------|
| 1) 下半身肥満 | 2) 内臓脂肪蓄積 | 3) 高TG血症 |
| 4) ウエスト／ヒップ比 | 5) 耐糖能異常 | |
| a) 1-2-3-4 | b) 2-3-4-5 c) 1-3-4-5 | |
| d) 2-3-5 | e) 1-3-5 | |

Q 147 高脂血症の治療法で適切なものはどれか。

- | | | |
|----------|------------------------|-------|
| 1) 体重管理 | 2) 運動 | 3) 食事 |
| 4) 薬物療法 | | |
| a) すべて | b) 2-3-4 c) 1-2-3 | |
| d) 1-3-4 | e) 1-2-4 | |

(解答は研修コーナーの最終頁にあります)

EXERCISE 31

更年期と合併症

Q 148 更年期障害について正しいのはどれか。

- a) 器質的障害によりあらわれる
- b) 顔のほてり、のぼせはエストロゲン低下による
- c) 50歳以降に発生する
- d) 精神的不安を訴えることがとくに多い
- e) 身体的症状のみを訴える

Q 149 更年期以降の合併症のうち、エストロゲン低下との関連性がもっとも小さいのはどれか。

- a) 更年期障害
- b) 骨粗鬆症
- c) 高脂血症
- d) 痴呆
- e) 老人性陰炎

Q 150 骨粗鬆症について正しいのはどれか。

- a) 骨の変形をともなうことが多い
- b) 閉経直後は骨吸収が骨形成を上回る
- c) 閉経後に多い
- d) 治療はエストロゲン投与のみでよい
- e) 発症を予防することは不可能である

Q 151 閉経後の泌尿・生殖器の変化のうちエストロゲン低下と関連性のある疾患は。

- a) 尿失禁
- b) 外陰炎
- c) 陰炎
- d) 尿道炎
- e) 上記のすべて

Q 152 高脂血症の重症度を示す血中の指標はどれか。

- a) 総コレステロール
- b) 低比重リポ蛋白 (LDL) コレステロール
- c) 高比重リポ蛋白 (HDL) コレステロール
- d) トリグリセライド
- e) 上記のすべて

(解答は研修コーナーの最終頁にあります)

EXERCISE 32

閉経後婦人の不正出血の取扱い

- Q 153** 閉経後子宮出血の子宮内膜組織所見のうち、もっとも頻度が高いものはどれか。
- a) 子宮内膜増殖症
 - b) 萎縮内膜
 - c) 子宮体癌
 - d) 内膜ポリープ
- Q 154** 次の卵巣疾患のうち、子宮内膜増殖症にもっとも関連の少ないものはどれか。
- a) 顆粒膜細胞腫
 - b) 莢膜細胞腫
 - c) 類副腎腫
 - d) 多嚢胞性卵巣
- Q 155** 子宮内膜細胞診で異型細胞を認めた場合、診断のための次のステップはどれか。
- a) 3ヵ月後に内膜細胞診を再検
 - b) コルポスコピーと子宮頸部組織診
 - c) 子宮内膜全面搔爬
 - d) 頸管内搔爬
- Q 156** 閉経後子宮出血について、次のうち誤っているものはどれか。
- a) 機能性出血よりも器質性出血が主体である
 - b) 子宮内膜細胞診が陰性でも器質的疾患が存在する可能性を否定できない
 - c) 超音波断層法検査で子宮内膜の肥厚が10mm以内ならば、子宮内膜細胞診や組織診を省略できる
 - d) ホルモン剤で止血を試みる場合は、投与後に消退出血のあることを説明しておく
- Q 157** ホルモン補充療法（連続投与法）を行っている婦人の約90%において出血が認められなくなるまでの期間は、投与開始後どの位か。
- a) 1ヵ月
 - b) 3ヵ月
 - c) 6ヵ月
 - d) 12ヵ月

（解答は研修コーナーの最終頁にあります）

EXERCISE 33

避妊法の実際

Q 158 ピル投与に際して注意しなければならない副作用で正しくないのはどれか。

- a) 血栓性静脈炎 b) 嘔吐 c) 肺塞栓
- d) 体重減少 e) 心筋梗塞

Q 159 ピルについて誤っているのはどれか。

- a) 血栓症の副作用はおもにエストロゲンによる
- b) 低用量ピルは従来のピルと比較してプロゲステロゲンの量は変わっていない
- c) 二相性、三相性に投与するピルも存在する
- d) 定期的に肝機能、凝固系の検査が必要である
- e) 喫煙者には慎重に投与する必要がある

Q 160 わが国の避妊法でもっとも普及しているのはどれか。

- a) 経口避妊薬 b) コンドーム c) IUD
- d) オギノ式 e) 殺精子剤

Q 161 米国などにおいてIUDに付加されて避妊効果があるとされているイオンはどれか。

- a) 鉄 b) 亜鉛 c) 銅 d) 鉛 e) 金

Q 162 コンドームについて誤っているのはどれか。

- a) 最近のは、latex rubber で作られている
- b) HIV ウイルスは通過させない
- c) HB ウイルスは通過させない
- d) クラミジアの予防にはならない
- e) 欧米ではピルと比較すると普及していない避妊法である

(解答は研修コーナーの最終頁にあります)